

風水インタビュー

風

水

住

宅

滋賀県大津市【T様邸】を訪ねて

「理想の我が家」に住み早や4年。
リゾート感覚に満ちた『住処』づくりは、住み心地が良く使い易い
高い満足感と幸福感を得る家を実現した。



楽しさ溢れるファミリールームは、お子さまの「想像力」を育む場としての大切な役割を果たしています。

リゾートホテルに居るような心地良さ
家内の兄が、松永先生の『風水環境科学』に関する講座を受講していただき、その良さを聞いていたので、「私たちも家を建てるなら風水住宅を」と家内と話し合っていました。最初は戸惑いもあったのですが、まずは相談してみようと思い、先生の事務所に連絡をしました。

そのときの印象がとても良く、また、良心的で迅速な対応をしていただいたことから、話がトントン拍子で進んでいきました。そのうえ、松永先生が直々に来てくださり、土地の鑑定もしてくださりました。

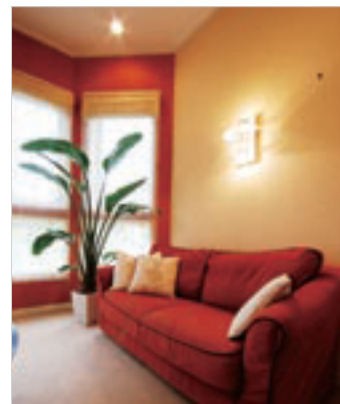
「終の住処にするのには、ここは良い場所ですよ」。土地の鑑定の直後に先生が話されたこの言葉で、その土地の購入を決心しました。松永先生の印象は、とても鮮烈でした。「家によって、人の人生は大きく左右される」、「環境が人をつくる」というお話は、とても

興味深く魅力的で、先生のお人柄も相まってお話に引き込まれていったのを覚えています。それまで、いろいろなモデルルームを観に行ったり、本を読んでみたりしていたのですが、どれもピンと来なかった理由がはつきりわかりました。これで納得のいく家が安心して建てられると、期待に胸が高鳴りました。

家を建てる前に祈念したことは、「家族の健康と安寧」、そして「子供の健やかな成長」でした。4年経って変化したことは、必要なモノ以外は家に置かなくなったこと、帰宅が楽しくなったことですね。お気に入りの絵や花をたくさん飾り、よい音楽や香りに包まれた暮らしは心が和みます。また、シンプルで無駄のない生活は、身動きしやすく、物事の判断や整理が早くなるように思います。

いつも新鮮な気持ちで生活できる空間

『風水住宅』は、無駄なスペースがなくて、窓がたくさんあつて室内が明るく、また風通しも良いのでとても心地良いのです。来客から「初めてここに来たのに、以前から居たように心地が良いわ」とか、「とても落ち着く家ね」と



天井高のあるリビングは、伸びやかに葉を広げた観葉植物や彩りの豊かな色彩がリゾート気分を高めてくれ、住まう人に寛ぎをもたらします。



リビングとダイニングは、一体の空間でありながらも視線をわずかにずらして配置することで、それぞれのお部屋の用途が邪魔されないような工夫が施されています。

と言われることが多いです。私達も、松永先生が言われた「毎日、リゾートホテルに居るような暮らしは素晴らしいですよ」という言葉を肌で感じています。

夜の帰宅時には、広い窓から暖かい明かりがもれ、それを見るだけでも幸せな気分になります。

家内が一番気に入っているのは、何と云っても使い易さです。家事をする人の「導線」をよく配慮してつくられていてまったく無駄がないうえに、どこに居ても家族の気配が感じられるよう設計されていることに脱帽です。お陰様で家族の絆の深まりを実感しています。

また、床にはカーペットを敷き、床暖房にしたことで、冬でも足元が暖かくとても快適に過ごせています。

4年の月日が経過しても、「いつも新鮮な気持ちで楽しく生活ができる家」、「住むほどに魅力を増していく家」に、家族全員が深く満足しています。